

妊娠期から子育て期の

相談ワンストップ拠点ができます



9月17日から、妊娠期から子育て期のあらゆる相談に応じる「小樽市子育て世代包括支援センター」を保健所2階に開設します。ここでは、センターの役割などについてお知らせします。

切れ目のない

子育て支援のために

妊娠・出産や育児は楽しいことやうれしいことも多いですが、一方で、生活スタイルが変わったり、自分の思い通りにいかないことが増えたり

と、ストレスや悩みが増える時期でもあります。市の子育てに関する相談や支援の窓口は複数あり、初めて子育てをする方や転入された方などはどこに相談してよいか分かりづらい状況もありました。そこで、子育てのあらゆる

相談に応じ、切れ目のない支援を行うため、市では「子育て世代包括支援センター」を開設します。センターは、子育ての悩みをどこへ相談したらよいかわからないときに、気軽に相談できるワンストップ拠点として、妊娠期から子育て期の皆さんを支援していきます。

親子に寄り添う支援体制

センターで相談を受けた際は、悩みに合わせて利用できるサービスを紹介するほか、必要に応じて支援プランを作成します。支援プランを作る

ことにより、悩みや生活の中で実践できることを共有しな

センターの開放日

日程や時間の詳細はホームページ等でお知らせする予定です。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部利用の制限や開催の中止をすることがあります。



おおむね1歳6か月までの子どもと保護者

子どもと遊びながら保護者同士の交流ができます。身体計測を行うほか、保健師、栄養士、歯科衛生士が育児等に関する相談をお受けします。



おおむね1歳6か月～2歳6か月の子どもと保護者

子どもと遊びながら保護者同士の交流ができ、保健師・栄養士・歯科衛生士が育児等に関する相談をお受けします。保育士によるふれあい遊びや、保健師・心理相談員等の専門職による育児や発達のお話もあります。

から、次回の相談のタイミングや利用できるサービスの明確にし、保護者の方が一人で悩むことがないよう継続的に親子に寄り添う支援体制の強化を図ります。



センター開設にあたり、保健所の一部を改修し、靴を脱いで安心して過ごせる大きな

スペースや、子どもと一緒にもゆったり相談できる環境を整備しました。通常の個別相談のほか、保健師や栄養士、歯科衛生士などの専門職への相談や保護者同士の交流もできる開放日を開催予定です（右を参照）。ぜひお気軽にご利用ください。

◆お問い合わせは、保健所健康増進課 ☎ 3110、FAX 21469 へどうぞ。

初めての妊娠・出産で不安…



産後なんとなく気持ちがモヤモヤ…



子どもの発達が心配…



子育てのこと
妊娠中・産後のこと
お気軽にご相談ください！

